

新聞が"どう"のような理由で、作るのかが分かった。

新聞が"なぜ"なら、権力を自分勝手に使う人が"出てきたりした"という実際の話を聞いて、それが"大切な物だ"と思った。  
"社説"の話を聞いて、未来のことと予想して、記事を書いているなんですね。  
と聞けた。

たくさん意見で、新聞が作られていくのを知り、自分も積極的に意見しようと思つた。

新聞記者は新聞を作らなければ仕事だと思っていました。

アメリカの政治家が勝手に給料を上げていて話をうなづいた。  
知らないところで色々活躍しているんだなと思った。

新聞記者の人があほうをしてしまは、ほかの新聞者がひまへすこと  
をはじめしゃべって。

最新のじょうほうなどを早く出してすごいなと思いました。

僕が思った事は、新聞を作るのはとても大変なんだなと思いました。記者の人はその現地まで行かなーと行けなーのはめんどくさそうだと思ったから。

新聞とネットニュースの違いは裏取りをしきりするかしないかの違いで、新聞はすべて正確な情報が書かれていることが知れてよかったです。

朝日新聞の人の話を聞いて感じたことは新聞はその事実はもちろん裏読みも人の目に止まる題名を作り人などもいるということを聞こえて細かい場所までお金かけているなど思いました。

一つの記事をかくのに多くの力がかかることがあります。

自分は新聞はほとんど読まず、いっしょについているナップフレなどしかやっていなかったので、新聞の内容は全然知りませんでした。でも今回話を聞くと、新聞のおもしろみなどたくさんのがわかったことがありました。自分が一番心に残ったのはネットは誰かがうその情報反があるのにたいし新聞は新聞社が思う通りとした小報反といふことです。これから新聞を見る機会があれば今回の授業をきっかけに読みたいと思います。

新聞会社の人は新聞を読んで多くの目をひきつけるようだよ  
タイトルを一生懸命考えてしていることを知りました。  
自分は新聞あまり読まないので、これを機会に  
新聞をちょっと読んでみようと思います。

最初は、新聞作りについてあまりよくわからていなかったけど、NIE(新聞記者)の話を聞いて、新聞記事作りについて前よりよくわかりました。

ふつうでは聞けない話や記事をつくる裏側の話  
などが聞けて良い機会になった。

今回、私たちが地理の授業で行っている NIE についてもっと深く知れる講座を受けさせていたたきました。私たちは講座の中で、タイトルをつけるということをしました。タイトルは新聞でもなくてはなりません。タイトルがインパクトのあるほうが新聞を見る人たちからして、とてもいいと思いましたが実際、自分たちでタイトルをつけるとなると、すぐ考え、インパクトがなくとても難しいと思いました。でも、記者さんがいうことで私たちも新聞が毎日のようになれることも幸せだと感じました。

\*このまま 兵庫NIEホームページに載るかもしれません。字を丁寧に書いてください。

\*名前は載りません。

ネットニュースのほうがよく読んでいたけど、新聞は事実の裏づけがきちんとされていたり、記者さんが工労して書いた記事がたくさんあることを知れたので新聞も読んでみたくなりました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
支局長

西宮市立浜脇中学校

記者の方達がどのようにして取材をしているのが分かりました。新聞社の方達が人々の目にとまるような見出しをたくさん考えていてひとつ一つの見出しを考えるだけで大変なのに改めてすごいと感じました。取材することによって権力がまちがったことにつかわれないようになることもあるとしておどろきました。

ふたん、聞けなーとが聞けた、嬉しかったです。  
 見出しつけると、うことをしてみたけど、思つてはる以上に  
 難しくて、記者の方は、すぐ「なんだ」と思いました。  
 あまり新聞は読んだことがないけど、記者の方々の方へんさが  
 わかりました。  
 次、新聞を読むときは、今回のことをひかげて読んでみようと  
 思います。  
 きょうな体験ありかうございました。

\*このまま兵庫NIEホームページに載るかもしれません。字を丁寧に書いてください。

\*名前は載りません。

ハセキラムロ(5年)朝子活

普段新聞は、取らないのですが、新聞の無い地域などのお話を聴かせてもらい、  
 新聞がどんなに大切か分かりました。

私は、今回西見さんの話を聞いて新聞がどうやってきたか、新聞記者はどう  
 な事を考えて仕事に取り組んでいるのかわかりました。今回新聞の見出しおこる  
 事がわかったのですが、全く思いつきませんでした。見出しおこるに決まらないと西見さんが言  
 っていたのですが、自由なものも難しいものだと思いました。

新聞とネットのちがいがあつのかあどいた

講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
西見誠一  
支局長

西宮市立浜脇中学校

とても有益な授業でした。ですが、スライドシヨなどから見れなくて残念です。新聞作りも大変なんだと感じました。見出しを考えることからでも裏書きからでも。これを毎日何回も書くといふ人はすごいと思いました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
支局長

西宮市立浜脇中学校

話を聞いてテレビで少しぞぞうかだけじゃ新聞がこんなたいへんだったなど思ったり本当のこと聞くまでがとてもいい感じになりました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
支局長

西宮市立浜脇中学校

今まで知らなかた新聞のことについてたくさん知ることができた。  
ネットニュースとの違いとかも分かった。  
記者の人は自分で現場までいき、事実だけをのせるというのが大変なのにすごいなと思いました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
支局長

西宮市立浜脇中学校

貴重な時間でした。一番大事なことが権力がんしだという話を聞いて確かにそうだなと思いました。相互がんしもありすごい厳しくなってきてるなと思いました。ありがとうございました。

新聞社の人も迷いながら新聞をかいているんだな  
と思った。

新聞はあまり読んだことがないけど地理でや、いろいろ  
NIEのおかげで新聞について少し分かった気がする。

新聞はあまり読まないけど記者の人の話をきて、新聞は  
大切なんだと感じた。

\*このまま、兵庫NIEホームページに載るかもしれません。字を丁寧に書いてください。

\*名前は載りません。

新聞は、テレビなどとは違ったてとも伝えることができるので、すごい  
と思った。

話が聞けて良かった。

今まで何気なく見てきた新聞だったけど、話を聞いて、1枚記事を  
作る大変さや、権力感知などの知らなかった一面を知ること  
がてきて、新聞に興味を持った。

僕は、記者派遣事業の話を聞いて、新聞記事とネット記事のちがいについてよくわかりました。新聞記事には、うそのことがかかれたりしているので、新聞をよくせつけて、新聞記事をよむことの大切さがわかりました。

2つ目は、えらい人たちが権力を大丈夫につけているかどうかをかんじるのも新聞を作り人の役目だということです。えらい人たちが誰も見ていないからといってお金をあげたことがあっても、こうです。このどちらなことが起きるので権力を大丈夫につかえるかどうかをじかめるひょうがあることがわかりました。

\*このまま、兵庫NIEホームページに載るかもしれません。字を丁寧に書いてください。

\*名前は載りません。

新聞がこのせからなくなったら、どんなことが起こるのかがわかった。ほかにも新聞をつくるとき、石窟れりるのでネットより正確なことを知れたり、見出しづくるのも難しいことがわかった。

今日は話が難しかったのでよく分からなかっただけど、貴重なお話をありがとうございました。

新聞のない世界だとズルをする人がおりそういうのをなくすには新聞が必要と矢口りました。このような体験をしてくれて誠にありがとうございました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
西宮市立浜脇中学校

今回の話を聞いて新聞は大切なものなんだなーと思った。

〆切 1月 21 日 (金) 朝学活

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
西宮市立浜脇中学校

新聞を作る人がどう感じたのか、何を考えて作っているかが分かって良かったです!!

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
西宮市立浜脇中学校

今回実際に新聞を作っている人の話を聞いて新聞の大切さというものが分かった。